

合議印	議長	副議長	事務局長	書記	
					

議会全員協議会

平成 31 年 1 月 29 日

午後 1 時 30 分～

協議会室

1. 開会

◎加山局長

2. あいさつ

◎米山議長

どうも皆さんこんにちは。

ご多忙の中ご参集いただきましてありがとうございます。この後、全協の後、定例会も控えておりますので、それぞれ質疑等、的確に、またその対応も的確にお願いしたと、こんなふうに思います。

そんなことで進行の方のご協力をお願い申し上げまして簡単でございますけど挨拶とさせていただきます。よろしくお願いします。

◎加山局長 進行

◎深津町長

どうも皆さんこんにちは。

日本列島を寒波が襲っているということでございます。

また、インフルエンザも非常に流行っておりまして警報が出たりいたしております。十二分に注意をしていかななくてはならないなというふうに思っております。

本日は大変お忙しい中、臨時会それに先立っての全員協議会ということで、ご協議をいただきますことを感謝を申し上げる次第でございます。

また、午前中には社会文教常任委員会の方で、やはりほとんど同じ案件でありますけれども、ご協議をいただいたところでございます。どれも非常に町にとりましては重要な案件でございます、これからすぐに進めていくもの、またじっくりと進めていかななくてはならないこと、それぞれだというふうに思っているところでございます。

また三つ共、大きな国の交付金事業ということでやってまいる予定でございます。

本日の臨時会には、小中学校のエアコン設置についてを上程をいたしております。補正予算案で認めていただきました。国の特例交付金を使って進めていきたいというふうに考えているところでございます。そんなことでご審議の方をよろしくお願いをいたします。

それから1点触れておきますけれども、1月に入りまして出初め式が終了してすぐに上片桐の認知症の方が行方不明に、82歳の方がなられたということで、消防団、消防署、警察、それから地元の地域の皆様方を初め多くの皆さんに捜索活動等ご協力をいただきました。ちょっと長引くかなと心配をしたんでありますけれども、残念な結果ではありましたがも見つかったわけでございます。その間多くの皆様方にご協力ご心配をいただいたこと、感謝を申し上げる次第でございます。一言申し上げまして冒頭のあいさつといたします。

よろしくお願いいたします。

◎加山局長 進行

◎米山議長

それでは早速でありますけれど、協議事項に移らせていただきます。

まず最初に(1)番、平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業松川小中学校へのエアコン設置工事請負契約の締結についてということで、こども課から説明の方をお願いいたします。

3. 協議事項

(1) 平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業

松川小中学校へのエアコン設置工事請負契約の締結について【こども課】

◎福島課長 説明

◎米山議長

説明いただきました。ここで質問ありましたらお願いします。

川瀬議員。

◎川瀬議員

それではお願いします。

社文の方でもお聞きいたしましたけれども、質問の回数が制限されておりますので、全協の方でもお願いしたいなというふうに思っております。

午前中の時にですね、強度試験の等についての資料出していただきたいということでお願いしたら、これの資料がいただきました。

これ前、福島課長 12 月のときは 3 校とも安全で問題ないというに言われたわけでございます。これ、それはどの根拠に基づいて言われたかわかりませんが、この書類についてはいつ出されたものなのか、そしてですね、日付がまずありませんよね、基本的にはこういう書類は、この松本ですかね、A&A さん、構造研究所というのがあって、こういう書類を出すには、何月何日誰宛とかいうふうに出ておると思うんですけども、これは基本的には先ほど業者さんの方から依頼があったということでありますので、当然、去年のうちにこういう資料が出て、課長の方で 3 校とも安全だよ、というふうに言われたものなのかをきちっと、ここの表紙の部分をですね、説明していただきたい。本来なら業者っていうか、設計さんの方から 3 者ともあれば、3 者の連名で松川町宛へ出るのではないかなというふうに私は思っております。

それから 1 ページめくっていただきまして、真ん中辺にコンクリートの圧縮強度というふうにあります。これが 14.3N ですか、ありますけれども、これ実際は安全を確保するためには、今 38k と重さ言われておりましたけども 6k になるとやっぱりこないだも言ったと思いますが 40k 以上になります。そうすると果たしてこの 14.3N で、先ほど筋交いを入れるって言いましたけれども、安全は担保されるのかどうか、それと先ほど現場でというか、資格者の中でその都度、安全を確認して穴をあけてやっていくっていったけれど、先ほどの話からとはちょっとおかしくて、12 月に安全だって言っとるのが全然ここでやっと安全を確認しとるような言い方でしたので、このところについては、その天吊り、要するにその資料と安全かどうかについてまず 1 点をお聞きいたします。

それからですね 2 点目ではありますが、適正価格というようなこともございました。確かにそういうことで町の方は適正だということでもありますけれども、社文の時に言いましたけれども、3 台のとこの設置が 100 何万で出来たというところがあれば、もう少しの検討する猶予があるんじゃないかなということで、これくどくなってしまうかもしれませんが、この 2 点でお願いしたいと思います。

◎米山議長

福島こども課長。

◎福島課長

先ほど別紙でお配りした資料につきましては、実施設計の業者から第三者機関という形で依頼をいいただき作成をいただいたものでありまして、完了処理の一部として設計事務所の方から提出をいただいたものでございますので、その1番の表紙につきましては、日付、当然委託業者の方からの提出ということで責任もって提出をいただいたという部分でありますので、その一部を抜粋しておるということでご理解をいただければと思いますし、この14. 3Nという部分につきましては、3校の1番強度の小さい部分を計算の基礎としておりますけれども、先ほど申し上げました通り、2枚目の後の所の、先ほど安全であるという結論のその前の所に0.10と1.0という部分があるかと思ひます。強度については、計算上10倍の強度があるということでありまひますので、その点は安全の方は確保出来るというふうに考えております。

価格につきましては、先ほども何度も、何度もって言ったら失礼ですが、お話をさせていただきまひました通り、それぞれで積算をしたものが、設計額の中に納まるということで、過大化しようがないというふうに判断しております。

公共工事でありまひますので、それぞれの直接工事費を出してそれに経費、消費税が上乗せになっております。一般的な工事と異なる点については、そのあたりがウエイトしめてこようかなというふうに考えておりますけれども、そのような部分につきましても、適正な積算が行われておりますので、額については適正であるというふうに我々、私どもでは判断をし、発注をしたところであります。よろしくお願ひします。

◎米山議長

はい、川瀬議員。

◎川瀬議員

これ質問にされると困るんですけども、そういや、私最初に聞いたのは、これ去年のうちに出とるか出てないかを聞いたわけ、日付もないことありますけれども、今言うに、業者さんの名前もないし、日付もないですよって言ったけれども、安全ですよって課長が去年の12月20日に言われたのは、それにはこの書類が出て、安全だということ言われたんですかってことを聞いたつもりでしたけれども、私の質問が悪かったら、ちょっとこれもう1回お答え願ひたいと思ひます。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

最終提出につきましては 12 月 28 日、実施設計の全ての書類をお出しいただいた時に、その一部として受け取ったということでございます。

しかしながら 12 月 20 日の日に全協で平面図お示しをさせていただきましたけれども、その際にはこのものはもうできておる状況で、それを見せていただく中で、安全の確保できておるということも踏まえて、実施設計についてはそれでいこうというような形で進めてきたということでございます。以上です。

◎米山議長

川瀬議員。

◎川瀬議員

去年のうちに提出されたと言え、私は証拠、確たる証拠はございませんので結構かと思えます。

本来これからはですね、こういう書類が業者さんから去年のうちに、この会社さんに頼んで出たものにしても、最低でも三者の方の設計者のところへ、発注した以上はその三者のですね設計者の名前がなくて、町が受け取るなんちゅうことは、これは全く意味のないような、意味のないというか不思議な書類だと思います。取って付けのような書類に感じておりますので、まあそこらへんはよく、これからはないようにしていただきたいのが一つでありますし、その引っ張り強度のね、その圧縮強度です。これ本当に、さっき 0.1 と 1 の、土がどうのこうのと言っとるけど、実際の強度試験の数字が 18N だと思いますけれども、そこら辺がこれに何もうたわれておりません。最小の 14。しかないんで、これで本当、さっきも言うように、安全が確保できるかつうところをもう一度検証していただきたいなというふうに思っております。

なぜこいだけ、くどく言っとるかということですね、例えばちょうど昭和 40 年頃ですかね、小学校が立てられました。その当時かどうかわかりませんが、でも、笹子トンネルがおちました。吊り天が、落ちないと思ったやつが落ちたわけです。

そして、昭和 50 年位出来た恵那山トンネルの吊り天も、撤去したわけですよ。結局、上から吊るのは危ないということで、そういうふうにあるんで、ぜひですね、私は安全だ安全だって言われるのであれば、そこら辺をいま一度精査していただきたいなというふうに思っておりますがいかがでしょうか。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

はい、今までご説明の方申し上げまして、設計事務所等々、協議をし進めてきておる中で、安全性を確保できておるという事。また、これから遂行にあたっても十分に安全性の確保できるというふうに考えておりますけれども、ご意見をいただいた部分については、再度、設計事務所さんの方にもお話をさせていただき、確認をする中でそれぞれの施工に向けて、それぞれの箇所での安全を確認する中で進めてまいりたいというふうに思います。
よろしくお願いします。

◎米山議長

川瀬議員。

◎川瀬議員

それでは一つ意見というかありますが、それこそですね、12月の定例会の時に、1,463人の方から署名をいただいて、子供たちに安全で、さらに適正な適正な価格で工事をということで、議会へ陳情出されまして、私たちは議会として、採択したわけです。

この内容から見ますと、全く採択した内容に、安全もあやふやな回答でございますし、価格の方もですね、私は納得いくような価格ではないなというふうに思っております。

ぜひ、ひとつ希望が持てるとしたらですね、普通教室だけ天吊りから、松川中学のみですが、床置きに変えて工事変更して、そうすればですね、天吊りよりは、床置きの方が価格的には安くできるでしょう。そうすれば、業者さんも利益が出ます。ぜひそんなことをですね、お願い、お願いというか変更を要望したいなというふうに思っております。

くどいですが、安全の方がまず第1でございます。

よろしくお願いいたします。

◎米山議長

ほかに質問ございますか。

熊谷議員。

◎米山議長

後で、入札案件、この通ったやつに対してですね、扱いちゅう事がありますので、確認してっからちょっとしたいと思います。

◎熊谷議員

今議長から印刷終わってからということでありましたけど、社文教の中では、この設置工事の構造検討書がなかったもんです。この件について質問をさせていただきます。

この設計業者が、この研究所にお伺いを立てて調べた結果ということですが、これは小中学校エアコン設置工事ということになっておりまして、小学校は示された通り、天吊り方式から床置きの方が構造上っていうか、安全性から見ても、それからのメンテについてもいいんじゃないかということで大分床置きになって提出されました。しかし、中学校の場合は、天吊りが38台、壁掛けが2で、床置きが1というようなことで、中央小・北小に比べると中学校は断然、天吊り方式が多くなっているということで、この構造上を見れば、小学校も天吊りでもいいんじゃないかなっていうふうにはとれるんですが、12月の議会でもちょっとそんなようなことも言った経緯もありますが、いま一度ですね、小学校は床置きに変更になって、中学校は天吊りが大部分という、そういうことのちょっと疑問があります。

説明では中学生は体格がいいのでとか、職員、担当職員が床置きでなくて、天吊りの方がいいっていうのは説明があったかと思いますが、この構造、小・中学校のエアコン設置工事っていう部分からいうと、どうもその、精査的には疑問が残るというふうに考えます。小学校の方が万が一という場合を考えて、より安全性に考慮されたのかなというふうに感じておりますが、中学校については、なぜ天吊りになったのか、耐震が同じ状況において、そんな風になったのかと、今一度説明をお願いいたします。

◎米山議長

ちょっと説明いただく前に、川瀬議員の件ですけど、契約案件でですね、入札の通ったものについての変更ってことはないということで、可決か否決かというような扱いになるそうでありますので、ご承知おき願いたいと思います。それでは今の熊谷議員の質問に対して、福島課長。

◎福島課長

先ほどお話もさせていただきました通り、小中学校1番弱い数値を、計算の基礎としておりますので、先ほど言いました14.3と、数字を基礎として計算を

させていただきましたので、一応すべての小中学校 3 校共に安全性の確保が出来るということで、当然先ほど議員申されました通り、天吊りする中でも行けるということでありまして、先ほど説明申し上げた通り、安全対策についても万全を期していくということですので、それはそれで可能だというふうには思いますけれども、それぞれ業者選定した際にもお話ししました通り、さまざまなこと、学習環境ですとか、安全性もちろん、学習環境その他、さまざまなことを検討材料として総合的に判断したということでありまして。

当然中学生の教室での授業、また小学校の児童の皆さんの教室での過ごし方等もありますので、そのあたりも配慮する中で、三者で協議して機器については選定をしていったということ。まず第 1 は、当然お話ししました通り、安全性を第 1 に考えて、後、学習環境その他考慮する中での決定でありますので、それぞれ一つずつの教室ごと判断をしていった結果ということでありまして、全て同じ方法を採用しておるわけではないので、全ての教室でどういう方法がいいのか、これから使っていくにはどういう使い方、こういう使い方があるので、こういう形のがいいというような具体的な部分まで検討する中でやっておりますので、そのあたりはそれぞれの学校、教室で全て、全てといたしますか異なる企業選定しておりますので、選定についてはそういうことでやらせていただいたということでご理解をいただければというふうに思います。

◎米山議長

熊谷議員。

◎熊谷議員

はい、十分配慮する中で検討してきたという答弁でございました。

めくった 1 面の最初の上の検討概要と検討結果という下の部分ですが、下記の計算により長期荷重と地震荷重のいずれにおいても安全であることを確認した。その後、ただし検討に当たっては、コンクリートスラブが健全であることを前提としているということで、ただし書きがあります。

説明でもありましたが、ひび割れ等があったら違う場所に据えてくということでありましたが、何かこの耐震結果、構造強度計算にそぐわない言葉が入ってるなというふうに私自身思うわけで、じゃ上がって、コンクリートスラブ見たら、みんなひび割れとったら、どうなっちゃうのかなというふうな疑問を抱くわけですが、果たしてこれで天吊り方式が安全と言えるのかどうか、そこら辺のことを心配するわけですが、そこら辺のことをお願いいたします。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

はい、コンクリート強度につきましては、設置する全部で106台今回設置してまいりますので、106台の場所分全て確認する中でやってまいりますので、万が一こういうような部分につきましては、当然設計業者、施工業者、町担当の方と十分協議する中で、変更等も考えながら進めてまいらなければならないと思いますけれども、先ほど申し上げました通りそれぞれの現場で十分確認をして、やっぱり試験等も行いう中で、施工の方してまいりますので、その点については安全の確保がとれていくかなというふうに思っております。

◎米山議長

はい、よろしいですか。

はい、熊谷議員。

◎熊谷議員

小学校は床置きが多くて、中学校方はなぜ天吊り型になったのか、ちょっと疑問をいただくというふうに私は思っておりますので、上ってみてのことで、もし38kのエアコンが落ちてきたというような状況も考える中で、より安全な施行っていうのも臨んで質問を終わらせていただきます。

◎米山議長

ほかにはいかがでしょうか。

はい、黒澤議員。

◎黒澤議員

はい、皆さん質問していただいたので、最後の部分というか、今までの質問になかったところですね、この委員会ではなかったこの資料いただきましたので、で、この資料、まあ式も含めて高校の物理くらいのが出来れば、なから分かるかなとは思いますが、きちっと理解されているのかなという前提でお話をしたいと思いますけど、この中にですね長期荷重とか、短期荷重というのが出てきますが、長期とは、短期とはどのぐらいを指すのかっていうのが私はこの資料見ても分かれなかったなので、教えてください。

◎米山議長

はい、福島課長。長期過重とその部分ですよ。

◎福島課長

すいません、こちらの資料につきましては、計算の部分について説明を受けておりますけれども、そこら辺の定義についてのご説明まで受けておりませんので、誠に申し訳ございませんが、その点についてはちょっとお答えできないと、申し訳ございません。

◎米山議長

黒澤議員。

◎黒澤議員

はい、そこら辺のところはですね、保守点検というか、メンテナンス関わる所かと思えますし、抑えとかなきゃいけない所じゃないかなと思ひまして、私も見たけど、資料で分からなかったのでお聞きしたんですけれども、まあ他の部分はですね、大体理解できるわけですけども、まあそれで最後にね、過重の部分についても、耐震の関係についてもOK っていうのが出てますので、まあOK ならいいんだろうっていう、ま、でもその程度の部分じゃ困るわけですね、先ほど川瀬議員からも空調機器のですね、重さがもっと重いものになったらどうなるかっていう、質問があったかと思ひますけど、それにはお答えんないようでしたけど、この式を見ればですね、どのくらいの重さのものまで耐えられるかっていうのは分かるわけですけど、そういうことも含めてですね、先ほどの委員会の時にも、専門家がいらないじゃないかっていう話をしましたけど、きちっと押さえてですねいただきたいなと思うわけですけど。

◎米山議長

黒澤議員、これ、この件、議論する場所じゃございませんので、本会議までにその件について調査していただくということでいかがですか。

◎黒澤議員

はい。

◎米山議長

はい、福島課長、本会開催までにこの件について、初期この部分にですね振られている長期荷重ということに対しての答えを調べていただきたいと思います。

すがよろしくをお願いします。

今の黒澤議員の発言これでよろしいですか。

◎黒澤議員

はい。

◎米山議長

はい、ほかにいかがですか。

はい、米山郁子議員。

◎米山(郁)議員

陳情書が安全と削減において陳情書出されてありますけれども、それについて請負業者さんに対してどのような説明をされて、どのように理解していただいたかちょっとお聞きしたいのが1点と、それから管理業務費も多分変わりますよね、工事費が変われば、なのでその辺の金額が教えていただければというふうに思います。以上2点です。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

安全性に関して請負業者との話ということでございますけれども、まだ仮契約、契約が済んだばかりでございますので、その点については、私どもとその部分についての話はまだ具体的には進めておりません。これから工事に入る前に詳細を詰めて着工というような形になろうかなというふうに思っております。

しかしながら設計の中で、先ほどもご説明申し上げました通り、設計の中で安全性を確保する工事、さまざまなものがございましたけれども、その部分については、設計内容を見ていただければ業者も、ご判断いただける部分は多々あるかなと思います。

あと、私どもと請負業者についてはそのような形で、今後詰めていくというような形になろうかなというふうに思います。

それと、管理業務につきましては、12月議会で補正予算をお願いをいたしております、実施設計を組んでいただいた業者に随時契約によりまして委託しております。予算額506万6,000円ということでございますけれども、委託金額のトータルは433万800円ということで3社に管理業務を委託しております。以上です。

◎米山議長

米山議員、いかがですか。

はい、どうぞ。

◎米山(郁)議員

まあ、陳情書には安全面だけではなく、やっぱり工事費の削減も載って、文書の中に載ってたと思うんですよね、それでその設計、まあ、工事費は一応まあ補正の時よりも少なくなってますけれども、請負業者さんや、設計段階で行政としてその陳情書をどう受けとめてどう生かしていこうとしたのか、その辺のところがちょっとお聞きしたかったんですよ、せっかく陳情書出されてるのに、それを何にも受けとめられずに素通りしてもらっては困るわけで、それをちゃんとやっぱりどう生かされてるのか、その辺をね私はちょっとお聞きしたかったんです。お願いします。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

はい。12月議会に請願出されておりましたけれども、それに対して私どもの対応ということで、12月議会でもお話をさせていただきました。当然真摯に受けとめて対応はしていくということ、1,400名余の皆さんの署名もございます。ご要望もございますので、その点については十分配慮していくということでお話をさせていただいた所でございます。

当然、実施設計の業者につきましては、価格面安全面についても厳しく願いをいたしたところでございます。安全面についてはその結果として、先ほどご説明申し上げたような内容を設計の中に加えて、より安全性を高める対策をとっていただいておりますし、金額につきましても予算額に対して落ちておりますけれども、その部分については設計段階で十分配慮をいただいて実施設計が組めておるということで考えております。

請願の内容については、当然私ども十分理解しておりますので、その点については設計業者の方にはしっかり話をする中で、今までも進めてまいったところでございます。よろしくお願いします。

◎米山議長

よろしいですか。

はい、ほかにはいかがでしょうか。佐藤議員。

◎佐藤議員

はい、3つお聞きしたいと思います。

最初、こちらの松川町小中学校エアコン設置工事の検討書ですけれども、この検討書になってますけれども、これは誰がこれをもとに決定したかっていうのをお聞きしたい。

それから、設計図の方は学校別にあるのに、なぜこの報告書だけ小中学校となっていて固定の学校名がないのかっていうのと、後付けにエアコンをつけるんで、エアコンの重さ、それからアンカーの強度、それからからもともとの天上の強度について、検討がされているのかどうか、その3件についてお聞きしたいと思います。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

この、まず1点目の検討につきましては先ほどもお話をさせていただきました通り、この検討をもとに強度を確認する中で実施設計を設計業者さんの方で組んでいただいたということです。

機器の安全性の確保についてはこれをもとに実施設計の業者さんがやっていたというふうに考えております。

それと、これが検討書の中で小中学校という形になっておりますけれども、中学校はまあ1番最後にできた学校ですので、強度は小学校よりはあるというような形の中で、小学校の最小の数値を使ったということで、小中学校という形になっております。天井の強度、天井へエアコンをくっつけるっていう形にはならないので、天井を繰り抜いて上のコンクリートスラムの方へアンカーで固定していくということで天井の方については強度の計算はなされておらないというふうに思います。よろしくお願いします。

◎米山議長

はい、佐藤議員。

◎佐藤議員

あのすいません、そうするとこの検討書っていうのは、実施設計が始まる前に業者に渡されたものですか、設計者に、そういうことでしょうか。

それから天井を外して、そのコンクリートの梁が来てるかどうかっていうのはどこで確認してあるんでしょうか。

◎米山議長

はい、福島課長。

◎福島課長

当然、実施設計組んで最終的に 12 月 20 日の日に平面図お示しておりますけれども、それまでにはこれが実施設計、設計業者さんの方に行って確認をする中で、そういう機器の選定等行われておるということでございます。

それと、コンクリートの場所については当然、今まで、今までと言いますか、設計業者さんには建築当時の図面ですとか、耐震診断の結果ですとか、あらゆるそれぞれの学校に対する平面図から、すべての図面お願いし、見ていただく中でやっておりますので、コンクリートの場所だとかそういうものは当然わかった上で設計をしていただいております。

◎米山議長

はい、佐藤議員。

◎佐藤議員

はい、すいません。

あの、その天井の梁の強度っていうのはちゃんとこれ、この他に吊ってる側の強度っていうのは、松川中央小学校、北小学校、中学校別に普通教室、特別教室はもう調査終わってるんでしょうか。

◎米山議長

福島課長いかがですか。

◎福島課長

それぞれの設置する場所についての強度っていうものは確認はできませんので、全体的な建物の構造上の強度という部分で今現在見ておるということで、先ほどお話ししましたけれども、個々のコンクリートの状態もやはり年月過ぎたり、まあ施工の段階もあるかと思えますけれども、当然ばらつきがあるというのはご理解いただけるんじゃないかと思えますけれども、その中で実際、施行の段に現場を十分確認をし、進めていくという方法をとらざるを得ないというふうに考えておりますので、そのような手順をして安全を確保しながら進めてまいるということでございます。

◎米山議長

はい、ほかに質問ございませんか。

3回やったら。

—— 音声聞き取り不可 ——

◎米山議長

はい、坂本議員。

◎坂本議員

はい、幾つかというか、この小中学校エアコン設置工事の、天吊り型の構造計算なんですけど、そもそもこれは誰がここへ発注して出したのかっていうのをまず1点お聞きしたいと思います。

◎米山議長

福島課長。

◎福島課長

先ほど申し上げましたが、実施設計の中学校の業者さんが当然天吊り型採用するにあたっての検討材料として発注しておるということです。

◎米山議長

坂本議員。

◎坂本議員

そうすると、明らかにおかしいっていうのは、こういうところに依頼するところに宛に必ずこれ出てくるもんなんです。そうすると、それぞれの設計業者が出したとすれば、その設計業者の名前が載っててそれを添付して設計書が出来てくる。当然コンサルのその設計会社から、そういう状態じゃないとあり得ないんですよ。だから当然さっきも何人か質問してますけども、中央小学校は中央小学校の設計強度っていうのが出てきて、それに対して大丈夫ですよと、で、それぞれコンサルも違うわけで、コンサルの名前が出てこずこういうもんが出てくるということは明らかにおかしいって思わなかったのか。これ設計会社に発注する前に、町が3カ所のあれをこれをとって、それでコンサルに渡してあるっていうんだったらまだ分かるし、本来だったらこの表紙が必ずコンサル、コンサルから町に提出されるべきものは本来だと思うし、そう

じゃないってこと自体がもうおかしいと思うんですよね。

で、まあ天吊り反対するものでもありませんので、そこら辺の信頼性がないっていうこと自体が、まあ計算は確かにあってますし、で、小学校の校舎の構造と、中学校の校舎の構造、もう根本的に違いますよね。柱でできてる、中央小学校、柱で、途中の壁なんかはみんなブロックを積んで壁作ってるだけじゃないですか。だけど中学校は全部鉄筋コンクリートで、壁も何耐力壁で作ってる構造で、で、北小なんかと一緒にこれ計算したるけど、北小木造ですよ。ね。そもそも、それをこういうので計算してくるっていうのがちょっと理解できないっていうのと、まあ安全対策として先ほどさまざまな安全対策って言ってますけど、この天吊り式の図面、まあ天吊りも床置きもいいんですけども、生徒がどこにいるか。天吊り式も絶対落ちないとは言いませんけど、まあ安全だと私は考えてますけども、もし仮に落ちた時に下に生徒がいなきゃ事故になんないわけですよ。じゃあ、天吊り式の下はそれだけ生徒が必ず並ばないと入れないような教室なのかどうかっていう検討をしたかどうかっていうこと、で、あるいは簡単に安全を確保できるとしたら、その下には人が入らない。床にテープを張るとか、いろんなこう安全対策って細かいところであると思うんですけど、お金のかからない、で、床置き式も当然固定して倒れないようにする。けども倒れたときにどうするかしたら、1m 範囲には入らないようにするとか、そういう安全対策も当然考える中で、どこに机があって、どこにそのそういった構造物を今度新しく付ける所の近くの位はあってもいいのかなと。

100%落ちないようにする、あるいは床置きにしても絶対倒れないようにする。ちゅうことは、その確率は少なくなっても0にはならないんで、そうなったときに生徒を守るためにどうするかっていうことが考えられているのかどうか、そこら辺2点説明をお願いします。

◎米山議長

はい、福島課長。

◎福島課長

はい、検討書に関しましては、その宛名とか日付の件については私ども受け取る際にそのあたりまでチェックはしておりませんでした。先ほど申し上げました通り、一連の書類の一部ということで、検討材料として設計を行ったということで確認をさせていただいたところであります。その点についてはおわび申し上げます。

それと、天吊りにしても、床置きにしても、当然100%の安全ということは言えないということは、ただいま議員の方からおっしゃられておられましたし、

思います。私ども当然、子供の安全に関しましては十分配慮していきたいというふうに思っております。

これから最終的に設置という形に向かっていくわけでありますけれども、子供達でするのでとんで歩いたりしながら、その近くへ行くようなことも当然あるのかというふうに思います。その点につきましては学校のことも十分調整をし、対応はとっていききたいというふうに思います。よろしくお願いします。

◎米山議長

はい、坂本議員。

◎坂本議員

はい、又そういった図面にも、ぜひまた安全確保出来てるんだよっていう、我々が安心できるようにでも、また資料つけていただければと思いますが、最後にアンカーの実際に施行始めれば、天吊りのどこにアンカーをもんで、そのコンクリートの状態がどうだかっていうのは分かると思うんですけども、先ほど課長言った、それを調べてって言い方したんですが、どのように調べるかだけちょっと教えていただきたいと思います。

◎米山議長

はい、福島課長。

◎福島課長

まずは当然、設置場所に現場の確認ということで作業される方について状態の確認をしていただくということ。

それと、アンカーの引き抜き試験を実施するということで、それによってそれぞれの場所のコンクリート強度を確認していくということで、それぞれ請負業者の作業をいただく方、またアンカーのうつには有資格者の施行ということになっておりますので、その方々に十分な確認、並びに試験の方を実施していただくということで進めてまいります。

◎米山議長

ほかには質問いかがですか。よろしいですか。

それではここで 1 時間ほど経過しておりますので、休憩を取りたいと思います。休憩取りたいと思います。2 時 40 分までちょっと短いですけど、あと押しておりますので、2 時 40 分までということで休憩をとりますのでよろしくお願いします。

◎米山議長

それではすいません、40 分までと言いましたけど、後がおしておりますので、先ほどの長期過重の件について福島課長の方から説明をお願いします。

(1) 平成 30 年度ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金事業

松川小中学校へのエアコン設置工事請負契約の締結について【こども課】
《長期過重と短期過重について》

◎福島課長 説明

◎米山議長

それでは続きましてそれは、(2) 番の方へ移ります。
町民体育館耐震補強工事について、生涯学習課長をお願いします。

(2) 町民体育館耐震補強工事について【生涯学習課】

◎小木曾課長 説明

◎米山(俊) 議長

質問ありましたらお願いします。
時間ありませんので簡潔に質問の方をお願いできればと思いますがいかがですか質問の方は、よろしいですか。
それでは続きまして(3) 元気センター仮称について保健福祉課長をお願いします。

(3) 「元気センター(仮称)」について【保健福祉課】

◎米山(政) 課長 説明

◎米山議長

説明いただきました。質問ございましたらお願いします。

◎米山(郁)議員

仮称元気センターについての 2 ページのレイアウトに関する町民からの意見聴取のところの松川町議会 1 月って今日のことですか。

はいそうですか。

それとですね、床暖とかされる予定になっています。書いてあったんですけども、ランニングコストはどのように考えられているのかをちょっとお聞きしたい。あと、この中に太陽光もされるんだったら NPO が必要とみたいなのが書いてあったんですけど、その辺のこともちょっとお聞かせください。

◎米山(政)課長

ランニングコストにつきましては、別の方からもうちちょっとエコの建物にしてほしいというようなご意見もちょうだいしているところでありまして、今現在は床暖房やエアコンというような形で対応を考えているところなんですけれども、そこら辺がまたちょっと設計会社とも相談する中で、なるべく費用の抑えられるような形のものを提案いただければなというふうに思っております。それこそ三者の方に今回提案をしていただいておりますので、例えば他の設計会社さんが提案していただいたことがそれが費用的にも安く上がるのであればそちらの方も当然検討の中に含めてもいいのかなというふうには考えておりますので、ちょっとこれも検討していきたいと思えます。

太陽光の検討については、そこら辺もちょっと設計会社さんとちょっと相談をしてみたいというふうに思えます。

◎米山議長

はい結論出てないようですけども、よろしいですか。

他には、森谷議員。

◎森谷議員

図面が出てきて非常に興味深く拝見をさせていただきました。

結構な事だと思っておりますけれども、今お話がありましたように、ランニングコスト的なものっていうのはいつごろなれば示しをいただけるのか、今現在ここへ入る部分での経費がどのくらいかかってくるのか、一緒になったらどうかっていうのをぜひ知りたいとそのように思っております。

それからもう 1 点は、ここに聞き取りの話がありまして非常にいいなという

と思いますが、今現在使っとる１番どうもご意見が多いのは、コミカフェの女性グループだと思っております、幾度も電話をもらったり、はっきり言って大変興味があるんだか、うるさいぐらいいろいろ言われておりますんでぜひ皆さんにも一度お話をお聞きをすると、そういうことでぜひやっていってほしいなと思います。

◎米山(政)課長

ランニングコストの関係については３月までにいろんなところどこ意見をちょうだいしながら設計会社とまた投げかけながらやっていきたいと思いますので、年度が変わったくらいになってしまうかなというふうに思っております。なるべく早めというか丁寧に説明をしながらも早めに出せる部分についてはご説明を申し上げたいと思っております。

それから説明会の関係で、やはり私もコミカフェの皆さんには、反対の方もいらっしゃるということも承知しておりますけど、今よろず相談というのが毎周行われておりましてその中の３月に組み込んでいただいくようお願いしておりますのでそういったところでご意見の方はちょうだいしていきたいというふうに思っております。

◎米山議長

他にはいかがですか。松井議員。

◎松井議員

委員会の時にお話がありましたけれども、ちょっと言えませんでしたのでお伺いいたします。児相に向けた取り組みのこのね３番に指定管理者制度を導入すると、５年くらいを目途にというふうに書かれてありますがですね。

これだけの規模のものを指定管理者にする。委託をする。ということについての、要は町直営でないというそのところについてどうかなというふうに思う部分がありますし、それともまた社会福祉協議会かという話ももしかしたらなるのかもしれませんがもう社協見てても何となく手いっぱいじゃないかなとそんなふうにも思いますがどんな構想を持っておられるのか。お願いします。

◎米山(政)課長

この指定管理者制度っていうのは民間事業者のノウハウを導入することによってサービスの向上ですとか、施設を効果的効率に運営できるというようなそういったようなことが期待されるわけでありまして。そうした中で今ここに社会福祉法人等というふうに書いてありますが、ちょっと今ここでどこっていうこ

とはあれなんですけど親愛の里さんも中であすなろうとか放課後等デイサービスを事業展開していただいております。

そういったところにも投げかけても、良いではないかなというふうに考えておりますし、ちょっと実際投げかけはちょっとこういうことはどうかなということで投げかけは、実際させていただいた経過もございます。まだ確定ということでもないですし 5 年という目標ではありますけれども、それがもう少し短くなるか遅くなるかっていうのはちょっとわかりませんが、町がずっといつまでも施設を抱えて運営していくというよりはそういった民間感覚でやっていただいた方がサービス面とは向上していくんではないかなというふうに考えております。

◎松井議員

民間感覚はもちろん必要なことでもありましょうし、またメリットもあるというふうにも思いますけれども、かと言って例えばコミカフェであるとか、町直営でやっとならいただけるので安心してお年寄りの皆さんなんかも利用されておるといような一面もあるというふうに思います。

指定管理者制度がですね、すべてにこれがメリットがあるかというところでもないマイナスに出る部分も多々あるのではないかなというふうに思いますので、ぜひですね先に指定管理者制度ありきではなくて利用者の声やら、個々の皆さんの声やらいろいろ総合してよくよく考えていただきたいと、町がこういう複雑な施設の運営はなかなか大変なので指定管理者に一括してお任せをしたいとそういうことありきではないようにしていただきたいなとそんなふうに思いますいかがでしょうか。

◎米山(政)課長

施設を運営していく中でご意見等は、十分にお聞きしながら進めていきたいというふうに思っておりますが、やはり全てが全て行政が今後担っていかなければいけないということではないかというふうに思っておりますので、私たちも、検討の中の一つとして考えていきたいというふうことでございます。

◎米山議長

他にありますか、間瀬議員

◎間瀬議員

具体的なこういう元気センターの構想が提案されて非常にいいことなんですけれども。いつころから慣用したいというか、そこら辺のめどはついてます。

◎米山(政) 課長

当初の予定では32年の4月というふうに考えておりました。それは当初予算を計上してというようなところの中で考えたんですが、骨格予算というところもありますので、ちょっとその関係の絡みと、いろいろなところからレイアウトについては、多くの方のご意見をちょうだいするようというようなお話もちょうだいしておりましたので、そこにちょっと時間をかけていくとなると、もしかすると開所は遅くなるかもしれないんですけども、当初の予定では32年の4月ということで当初考えておったところであります。

◎米山議長

他には、いかがですか。それでは、次にまいります。

(4) 番ですが松川町放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例の制定についてということで、産業観光課説明をお願いします。米山課長。

(4) 松川町放置自転車等の発生の防止及び適正な処理に関する条例の
制定について【産業観光課】

◎米山(清) 課長 説明

◎米山議長

3月議会上程ということでもありますので、協議の方は、3月にということをお願いしたいと思います。よろしいですか。お願いします。

4. 報告事項

(1) インターネット施設予約システムについて【生涯学習課】

◎小木曾課長 報告説明

◎米山議長

かなり詳しく書いてありますので、また直接聞いていただいてもいいと思いますのでよろしくお願いします。追加案件ということですね松川町土地開発公社

の理事会報告っていうようなことが出ておりますので、端的にお願いします。

(2) 松川町土地開発公社の理事会報告について【まちづくり政策課】

◎下沢課長 説明

◎米山議長

はい、それでは続きましてもう1件ございまして、追加事項ということで資料なし産業観光課の方から平成30年度地方拠点、地方創生拠点整備交付金の要望についてということで出ておりますのでお願いします。

(3) 平成30年度地方拠点、地方創生拠点整備交付金の要望について

【産業観光課長】

◎米山(清)課長 報告説明

◎米山議長

ここでもちょっと質問を省かせていただきますけれども、先ほど田中課長の方からこの前の行方不明者の事で、その後のことをちょっと話したいということでございますのでよろしくお願いします。

5. その他

◎田中課長

行方不明者につきましては、ご存じのとおり1月の14日月曜日の祝日でありましたが行方不明ということで捜索の方を始めさせていただきました。町谷の女性のO・Mさんということで82歳の方で痴呆の方がございまして過去にも警察、日赤の方で保護された経過がございました。翌15日の日からですね消防の方に依頼がございまして消防警察、広域消防を等々で捜索をしましたが、なかなか有効な手がかりがなかったということでございます。

その中で 20 日の日曜日になりますけれど、この時に上大島区会さん、それから消防団の有志それぞれ 80 名が出ましてですね、早朝より搜索した結果、20 日の日の 9 時にですね、やすい美容院さんの斜め前の空き家、前に K さんという方が一時住んでたときがありましたが、その空き家ですね南裏側のところへ、石積みの間の軒下に倒れておったということでございます。

大変皆様方にご協力いただきまして結果的には、町長言いましたとおり残念な結果ではありましたが、発見されたということで大変お世話になりましたけどました。

◎米山議長

すいません。その他あろうかと思えますけれど、時間もございますので予定どおり 3 時半から臨時会を始めたいと思えますので、これで終了させていただきたいと思えます。

◎坂本副議長

時間のない中ご協議ありがとうございました。

以上で全員協議会を終了します。